

BeFine!

第47期

第3四半期株主通信

2013年4月1日～2013年12月31日

証券コード 6869

シリーズ・シスメックスあんしん物語 [第8話] …… 5ページ

進化する! 乳がん診療



ノイシュヴァンシュタイン城(ドイツ)

円安の追い風もあり、売上高および 全ての利益で過去最高を達成しました。

第47期
第3四半期の
ポイント

ポイント
1 円安の影響もあり海外を中心に伸長し、
二桁増収を達成

ポイント
2 増収効果に加え、原価率の改善により
利益が大幅に増加



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2014年3月期 第3四半期の業績は、円安の影響もあり海外を中心に伸長し、二桁増収を達成しました。また、増収効果に加え、原価率の改善により利益も増加しました。売上高は前年同期比28.1%増、営業利益は同45.6%増、経常利益は同48.8%増、四半期純利益は同47.1%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比8.1%増、営業利益は同1.0%増となります。

日本は、ヘマトロジー分野*は減収となったものの、ノンヘマトロジー分野*が堅調に推移し、増収となりました。海外は、全ての所在地で増収を達成しました。特に成長著しいアジア・パシフィック地域においては、韓国、タイの直販化に加え、インドネシア、マレーシア、オーストラリアでの売上が好調に推移し、売上高が前年同期比66.9%増と大幅に伸長しました。これにより、当社グループの海外売上高比率は78.5%となりました。

なお、当第3四半期の業績は概ね計画通りに推移していることから、2013年11月に公表した2014年3月期通期の連結業績見通しに変更はありません。

当期の主な取り組みとして、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のプロジェクトの成果をもとに、独立行政法人産業技術総合研究所と共同開発を行い、世界で初めて糖鎖マーカを用いた肝臓の線維化の進行度を血液検査で判定する技術を実用化しました。今後も引き続き積極的な研究開発を進め、世界の医療の発展に貢献してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

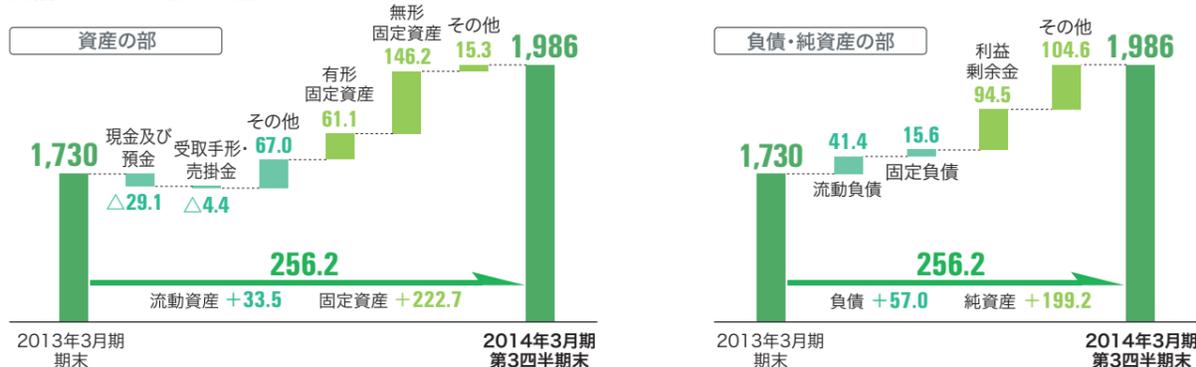
伊蔵 恒

いえずく ひさし

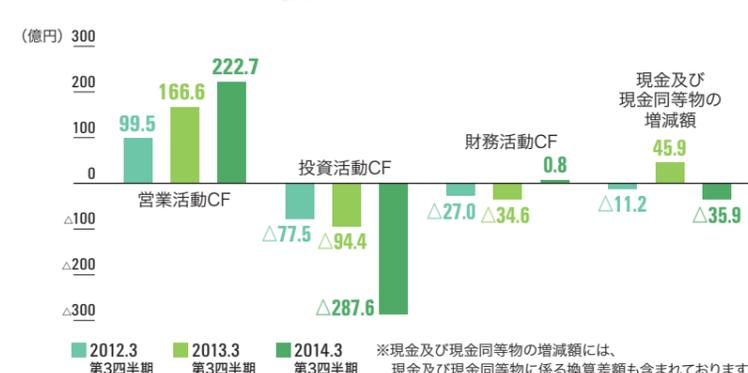
【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。

【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

●貸借対照表の増減要因 (億円)



●キャッシュ・フローの推移



IRウェブサイトのご案内

シスメックス
バーチャルツアーを
公開中!

シスメックスの
国内外の拠点を
ご紹介!

ぜひご覧ください。
www.sysmex.co.jp/ir/

※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

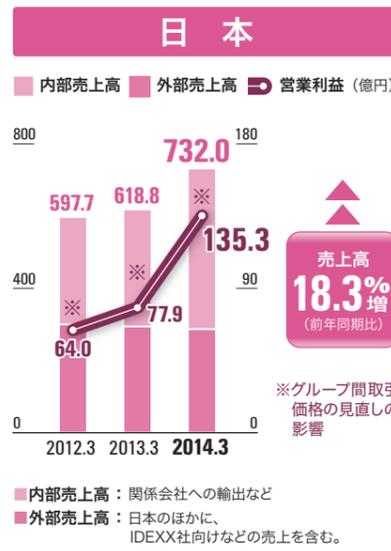
*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*ノンヘマトロジー分野: 血液凝固検査、免疫検査、尿検査、生化学検査などのヘマトロジー分野以外の検体検査分野。



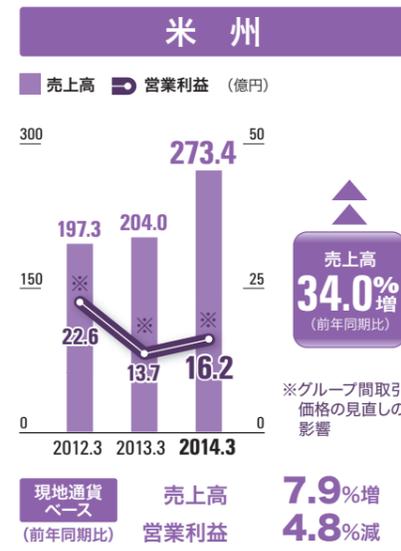
(為替レート(期中平均)) (円)

	2012年 3月期 第3四半期	2013年 3月期 第3四半期	2014年 3月期 第3四半期
1USドル	79.0	80.0	99.4
1ユーロ	110.6	102.2	132.2



1 ノンヘマトロジー分野*が堅調に推移し、国内の売上は微増となったものの、海外関係会社向けの内部売上が増加し、増収・増益となりました。

(注) 韓国代理店の子会社化に伴い、韓国は2014年3月期 第1四半期より、日本からアジア・パシフィックへ所在地を変更しました。



1 米国では医療制度改革の影響による買い控えが見られたものの、試薬・サービス売上の伸長や円安の影響により増収となりました。

2 増収効果が医療機器物品税の影響などを補い、増益となりました。



1 主要5カ国*に加え、販売網を拡充したロシアなどでの伸長や円安の影響により、増収となりました。

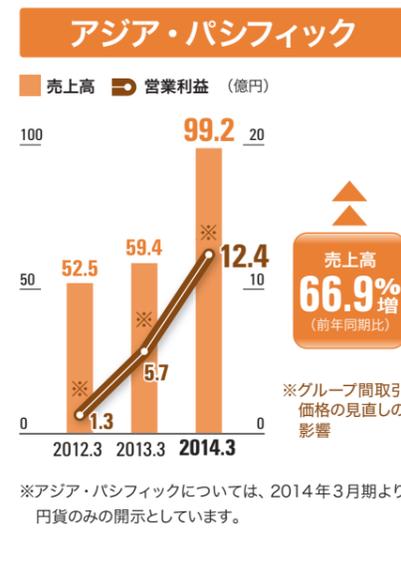
2 増収効果と原価率の改善が、ビジネス拡大に伴う販管費の増加を補い、大幅な増益となりました。

*イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン



1 市場での販売停滞の影響があるものの、ヘマトロジー分野*を中心とした試薬売上の伸長や、円安の影響もあり、増収となりました。

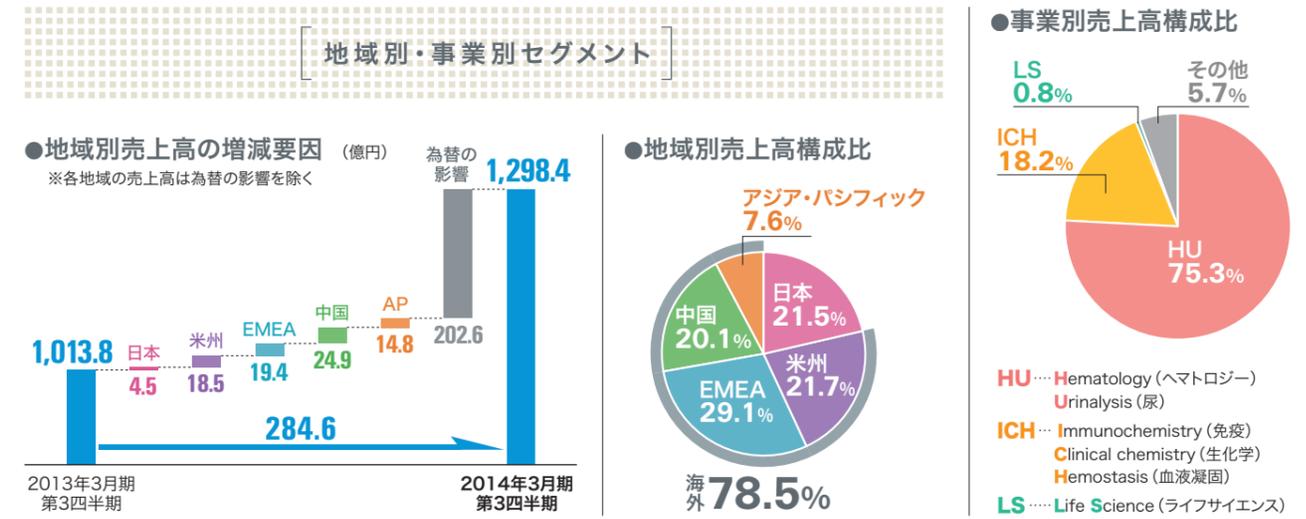
2 販管費が増加したものの、増収効果などにより増益となりました。



1 韓国やタイの直販化に加え、インドネシア、マレーシア、オーストラリアでの売上が好調に推移し、大幅な増収となりました。

2 増収効果と原価率の改善が販管費の増加を補い、大幅な増益となりました。

(注) 日本からモンゴルなどへの直接販売は、日本の外部売上高に含む。



グローバルレポート

「個別化医療」に向けて、技術基盤を拡充 —ドイツ企業2社を買収—

2013年9月、細胞や遺伝子を解析する独自の先進技術を保有するドイツ企業2社を買収しました。

ドイツのゲルリッツに所在するパルテック社(1967年設立)はフローサイトメトリー*技術のパイオニアで、蓄積されたノウハウをもとに最先端の検査機器を生み出す高い製品開発力を誇ります。また、新興国・途上国では、HIVやマラリアなどの感染症の検査に、同社の製品が広く使われています。

ドイツのハンブルクに所在するアイノスティクス社(2008年設立)は、血液中の微量のがん遺伝子を高感度に検出する“BEAMing技術”などの先進的な分子診断技術を有する企業です。この“BEAMing技術”は、従来がん組織を採取して行っていた検査を、患者さんの負担の少ない血液検査で実現しようとするものです。

これらの新しい技術が加わったことにより、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供する「個別化医療」の実現に向けた技術基盤が拡充されました。今後も引き続き、研究開発を進めるとともに、グローバルな販売・サービスネットワークを活かした事業展開を行い、世界中の人々の健康に貢献していきます。

パルテック社との契約締結時の様子

アイノスティクス社との契約締結時の様子



ガイドさん：健康や医療に関わることなら何でもおまかせ！の頼りになるお姉さん。

まもる君：好奇心旺盛な小学生。さまざまな施設を見学し、シスメックスについて勉強中。

進化する！乳がん診療

ガイドさんとともに、シスメックスが検査とどのように関わっているかを学んできたまもる君。病院からの帰り際、偶然、誰かと遭遇したようです――。

ガイド 今日はいろいろ勉強になってよかったわね。

まもる うん！…あれ？あそこにいるのは、隣のお家のお姉さん？

ガイド ちょうど退院されるところみたいね。

まもる よかった…！「乳がん」って病気だと聞いて、とても心配していたんだ。入院したのはつい最近なのに、ずいぶん早く良くなったんだね。

ガイド 乳がんは早期に発見できれば、充分に治療が可能な病気なのよ。きっとお姉さんも、早期発見で、手術も最小限の範囲で済んだのね。

まもる だから、あんなに元気そうなんだね。でも、がんって全身に転移するんでしょ？どうやって転移していないかどうを見分けるの？

ガイド 乳がんの場合、がん細胞が最初にたどり着くのは、脇の下の「リンパ節」という組織であることが分かっているの。だから、手術中にがん付近の少数のリンパ節を検査して、ここに転移がなければ、切除範囲を最小限にとどめる方法（センチネルリンパ節*生検）が広まっているのよ。

まもる へえ～、そうなんだ。

ガイド この検査方法の方が、患者さんの負担を軽くできるのよ。

まもる でも、手術中に検査をするのって大変じゃない？

ガイド これまではがんが転移しているかどうかを病理の先生が顕微鏡で調べていたから大変だったの。でも、シスメックスが遺伝子を用いた「OSNA®法」という技術を開発して、リンパ節の転移を調べる検査を初めて自動化したことで、手術中の短い時間で高精度な結果を得られるようになったのよ。

まもる 今までの検査とそんなに違うの？

ガイド OSNA法は検査方法が簡単で、客観的な結果が得られるから、病理の先生にも大変喜ばれているの。乳がんの診療ガイドラインにも掲載されていて、今では専門家も認める検査法として広く普及しているのよ。

まもる すごいね！新しい検査が、一人でも多くの乳がん患者さんの幸せにつながるといいな。

ポイント

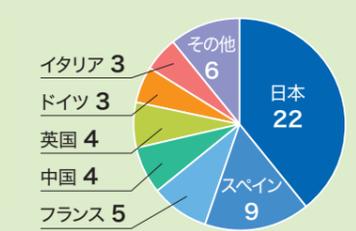
1 グローバルでの評価が進み、設置台数が増加

OSNA法を用いたRD-100iは日本だけでなく、欧州を中心に世界各国で導入が進んでいます。OSNA法の性能を評価する論文もグローバルに発表されており、科学的にも評価を受けています。スペイン、英国では乳がん診療のガイドラインにも掲載され、標準的な検査方法として認められています。

■OSNA法に関する論文発表数



■国別論文数(2013年)

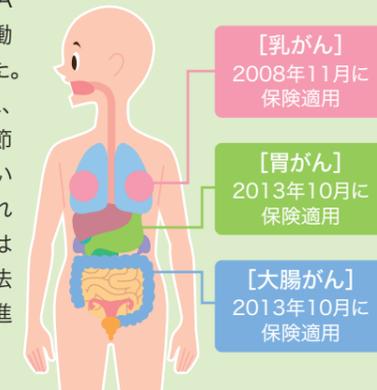


ポイント

2 乳がんに加え、大腸がん、胃がんでも保険適用

2013年10月には、大腸がん、胃がんについてもOSNA法を用いた検査が厚生労働省より保険適用を受けました。これにより、乳がんに加え、大腸がん、胃がんのリンパ節転移検査でOSNA法を用いた場合にも保険が適用されるようになりました。今後は他のがん検査にもOSNA法を活用できるよう、開発を進めていきます。

いずれも国内初！



術中病理組織検査

手術中に病理の先生が顕微鏡でがん細胞の有無を確認。手術中の限られた時間の中できめ細かな観察は困難なうえ、正確な判定には技術と経験が求められます。

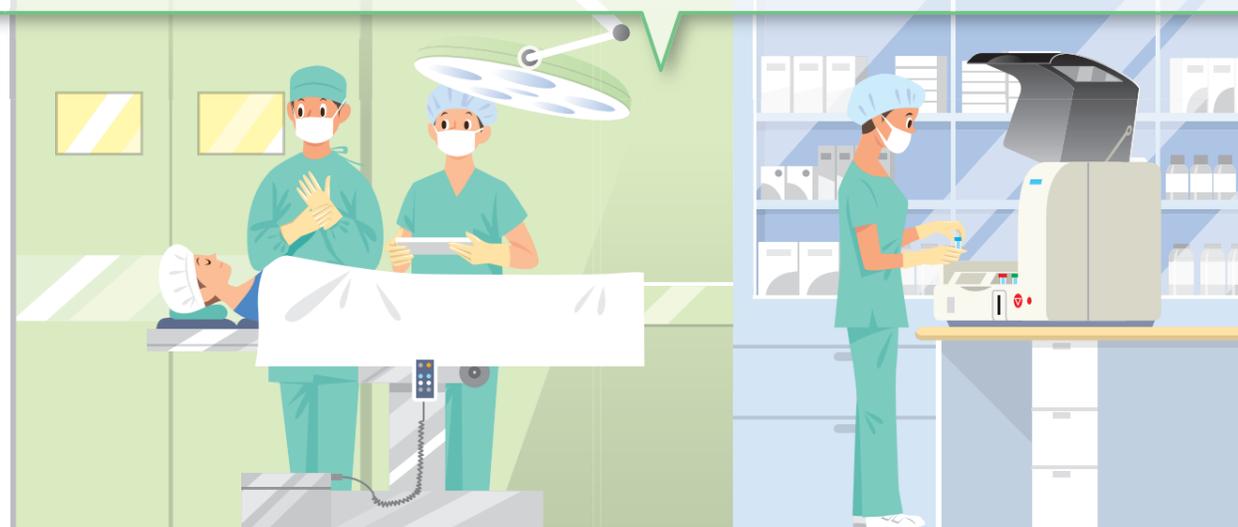


OSNA®法（直接遺伝子増幅法）

専用の装置と試薬で、がん細胞の遺伝子を増幅して測定。リンパ節の大部分を用いて、がん転移の有無を短時間で高精度に判定できます。



患者さんが少しでも健やかな生活を送れるように、医療も進歩しているのよ



ミニ知識コーナー

乳がんは「早期発見」が重要

乳がんの患者数は急速に増加しており、現在では日本女性の14人に1人が乳がんにかかると言われていています。一方で、乳がんは早期であれば大部分の人が治癒する“治せるがん”

です。早期発見のために、自己検診や医療機関での定期検診をおすすめします。



シスメックスは2004年からピンクリボン運動に協力しています。

▶▶ 「シスメックスあしん物語」は今回で最終話となります。次回からの新しい特集をお楽しみに！

医療用ロボットの開発に向けた マーケティング会社を川崎重工と共同で設立

医療用ロボットを開発、製造、販売するための市場調査を行う「株式会社メディカロイド」を川崎重工業株式会社と共同で設立しました。高齢化が急速に進む先進国では、患者さんの負担を軽減し、社会全体として医療費を抑制する方法の一つとして、医療用ロボットの活用が期待されています。産業用ロボットの技術を保有する川崎重工と、検査・診断に関する技術を保有し、医療分野に幅広いネットワークを持つ当社の強みを融合することで、日本のみならず国際的にも競争力がある事業を展開する予定です。



個人投資家向け情報提供における 優良企業に2年連続で選定

「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」(平成25年度)において、当社は「個人投資家向け情報提供」部門の優良企業に2年連続で選ばれました。社長による個人投資家向け会社説明会、図やグラフを用いて見やすく工夫した株主通信『Be Fine!』や、株主・投資家様向けウェブサイトなどを高く評価いただきました。今後も引き続き、個人投資家の方々により親しみを感じていただける活動を行っていきます。



授賞式の様子

国立がん研究センターと がんの診断薬開発に向けた連携契約を締結

国立がん研究センターで研究されたバイオマーカーや解析技術を活用し、連携して新たな診断薬開発を行う契約を締結しました。同センターは国内のがん医療の中核機関として知られていますが、新しいがんの診断薬や治療薬を開発する研究機関としての役割もあります。これまでも個別の研究開発で協力してきましたが、今後はより緊密に連携をとり研究開発を進めていきます。

「第3回神戸マラソン」に特別協賛

2013年11月17日(日)に「第3回神戸マラソン」が開催され、約2万人のランナーが神戸の街を駆け抜けました。第1回から特別協賛を続けている当社からは社員ボランティアが多数参加したほか、同時開催された「神戸マラソンEXPO」の展示ブースには、約4,000人もの方々にご来場いただきました。



声援を送る社員



「神戸マラソンEXPO」の展示ブース

採血せずにヘモグロビン量を測定できるコーナーは大人気

ご協力をお願いします

株主様アンケートのお願い

今後の充実した誌面づくりのため、アンケートへのご協力をお願いいたします。多くの皆様からのご意見をお待ちしております。(アンケートはがきを同封しています。)



会社概要

(2013年12月31日現在)

■商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
■設立年月日 1968年2月20日
■資本金 101億3,821万円

■格付け A+ (R&I: 格付投資情報センター)
■従業員数 6,164名(連結) 2,232名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会 6月
■基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。